

平成30年

目黒区教育委員会

第7回定例会会議録

(平成30年2月20日開催)

第7回目黒区教育委員会定例会会議録

開催年月日 平成30年2月20日

開催場所 教育委員会室

出席委員	教育委員会教育長	尾崎 富雄
	教育委員会教育長職務代行者	笹尾 敦夫
	教育委員会委員	後藤 幸子
	教育委員会委員	櫻井 道雄
	教育委員会委員	中山 ひとみ

出席職員	教育次長	野口 晃
	教育政策課長	山野井 司
	学校統合推進課長	増田 武
	学校運営課長	村上 隆章
	学校施設計画課長	照井 美奈子
	教育指導課長	田中 浩
	教育支援課長	酒井 宏
	統括指導主事	寺尾 千英
	統括指導主事	古舘 秀樹
	生涯学習課長	馬場 和昭
	八雲中央図書館長	石松 千明

書記		小野塚 幸隆
		山東 隆博

(議事日程)

- | | | |
|------|-------|-----------------------------------|
| 日程第1 | 議案第7号 | 職員の退職手当に関する条例の一部を改正する
条例（意見聴取） |
| 日程第2 | 報告事項 | 平成30年度における放射性物質への対応につ
いて（案） |
| 日程第3 | 報告事項 | 学校防災マニュアル【改定版】の修正案につい
て |
| 日程第4 | 報告事項 | 平成30年度区立幼稚園及びこども園の入園申
込状況等について |
| 日程第5 | 報告事項 | 平成29年度小・中学校祝辞について（案） |

資料配布

- ・平成30年度 組織改正(第三次)について

(午前9時30分開会)

- 教育長 第7回目黒区教育委員会定例会を開会いたします。本日の欠席委員、欠席職員はございません。署名委員は中山委員です。
それでは、日程第1を議題とします。

(日程第1 議案第7号 職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例(意見聴取))

- 説明員 (資料により説明)
○教育長 この件についてご質問等がございますか。
特にないようですので採決を行います。
本件に賛成の委員は挙手を願います。

(全員挙手)

- 教育長 全員賛成ですので、議案第7号は原案どおり可決します。
次に日程第2を議題とします。

(日程第2 平成30年度における放射性物質への対応について(案)(報告事項))

- 説明員 (資料により説明)
○教育長 この件についてご質問等がございますか。
特にないようですのでこの報告を受けました。
次に日程第3を議題とします。

(日程第3 学校防災マニュアル【改定版】の修正案について(報告事項))

- 説明員 (資料により説明)
○教育長 この件についてご質問等がございますか。
○委員 校庭の使い方で、人工芝が色々な学校で使われています。地域の方から人工芝にすると避難所として問題が起こる可能性があるということを聞いたことがあります。人工芝は避難所として問題があるのかどうか確認させていただきたいと思います。
○説明員 人工芝についてですが、例えばアルファ化米の煮炊きで火気を

使用したり、緊急車両が入ってくる場合に影響がございます。しかし、災害時となれば、校庭を使用することは致し方ないと考えております。

○教育長 災害時になれば、学校に入るのも鍵がなければ窓を割ってでも入らなければいけないということですので、人工芝を大事にしようという気持ちはわかりますけれども、災害時は致し方ないと思います。

○教育長 その他ご質問等ございますか。
特にないようですのでこの報告を受けました。
次に日程第4を議題とします。

(日程第4 平成30年度区立幼稚園及びこども園の入園申込状況等について(報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等はございますか。
特にないようですのでこの報告を受けました。
次に日程第5を議題とします。

(日程第5 平成29年度小・中学校祝辞について(案)(報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○教育長 では、小学校の祝辞からご意見をお願いします

○委員 最初の4行目ですが、「中学校生活への期待でいっぱいのご様子」は、聞いておまして、我々がお話するとき、これは言いづらいのではないかと思います。別の言葉にされるか、「いっぱい」という言葉はなくてもいいのではないかと感じました。

21行目、「さらに成長し続ける中学生となることを期待しています」、これは20行目に「4月から中学生となる皆さん」ということで、言葉として重なってしまいます。私としては、成長し続けることを期待していますだけで、中学生となるということはないと思います。

○委員 12行目の「宇宙の実験」ですが、この言葉でいいのか疑問に思います。宇宙への実験なのか、宇宙という宇宙空間での実験なのか、言葉として浮いていると思います。

15行目で「宇宙で人工衛星が太陽光電池パネルを広げ飛んでいる姿は」というのが修飾が長く、主語は人工衛星だと思いますけれども、人工衛星が飛んでいるでいいのかと思ったりしています。鶴との対比で飛んでいるというのを重ねるのはいいと思ったのですが、確認してほしいと思います。

○委員 私は、これでいいと思いますが、「宇宙の実験」は、実験なのかどうか気になりました。しかし、話は通じますので、これでもいいのかなと思いました。

○委員 強いて言うならば、宇宙を見上げるような言葉があるといいと思います。広げた太陽光電池パネルは、宇宙にあるということ子どもたちに語りかけるようなフレーズがあったら、良いかと思います。あとは最後の長所を知って、出会いがあって、長所を知って伸ばしていきながら夢に向かってというところも、すごくいいと思います。

先日の新聞に、折り紙から科学へ未来を飛ばたくという、特集がありました。折り紙が缶飲料のデザインに生かされていたりとか、タイムリーな話題ですので、祝辞に選んでいただいていたと思います。

○教育長 4行目の「中学校生活への期待でいっぱいのことでしょう」、これは何年も使ってきていて、我々はそれに麻痺しているところもあるのですが、改めて今ご指摘いただいたところなので、何か置きかえる言葉がありますか。

○委員 置きかえるならば、希望というふうに今思いました。

○教育長 23行目には、「期待しています」がありますね。

○委員 そこに期待が出ているので、子どもたちは希望に胸を膨らませているので、希望という言葉に置きかえられるのかなと思いました。

○教育長 ここは修正するかしないかはともかくとして、最終的に決定する前に事前確認を皆さんにお送りさせていただきますので、少し検討したいと思います。

もうひとつ、委員からありました、宇宙の実験なのかどうかというところ。実験とは何の実験なのかという素朴な小学生の質問に、宇宙空間で使用するということもありかなと思います。その後に宇宙開発と言っていました。この宇宙開発と宇宙実験はつながっていると思いますけれども、あえて実験と言わなくても

「宇宙開発の専門家は、宇宙空間で使用する長さ25メートルの太陽光電池パネルを」でいいと思います。

それから、15行目の「飛んでいる姿」は宇宙で人工衛星が太陽光電池パネルを広げ飛んでいるのか、とまっているのか、色々な場面があるので、ここは「宇宙で人工衛星が太陽光パネルを広げている姿は」でいいと思います。

大分よくなってきたなと思いますけれども、最後、17行目の「伝統と最新の科学技術が出会い」というところが、ひっかかりますので、ここも預からせてもらいたいと思います。

それから、「宇宙まで広がっていくように」というところは、「宇宙まで広がりを見せたように」という方がいいかと思います。

それから、「皆さん一人ひとりの長所も、新しい知識が加わり」というところもひっかかっています。急にここで「新しい知識が加わり」と出てきたのは、知識なのか、その応用なのか、知識をもとにした応用だとは思いますが、技術のことを言っているのか、「皆さん一人ひとりの長所も、多くの人との関わりの中でさらに磨かれ、新たな活躍の場で発揮されていくでしょう」と、このところは「新しい知識が加わり」というのは取るか、あるいは取らないのであれば、違う言葉に置きかえたほうが良いと思います。

○委員 人との出会いの中だけで磨かれていくわけではないというところを意図的に入れている気がします。何かを学ぶということも入れたいのです。人との出会いの中だけでなく、自分も学んで新たな活躍の場という感じです。新しい知識は若干違和感があります。

○教育長 知識なのかどうかというところが気になっています。子どもたちの成長は、原点に立ち返れば知・徳・体です。この知識という言葉だけで集約するには、宇宙の大きさからすると小さい気がしています。これも検討していただきたいと思います。

○説明員 小学校の学習の中でも、自分自身のいいところはどんなところかというのを投げかけられて6年間来ているとは思いますが、その中でも今後に生かされていくようなところを自覚していくといった意味合いが強いと考えております。

○教育長 それでは、次に中学校の祝辞についてご意見をお願いします。

○委員 10行目にゴール後のことを書かれていますが、「ゴール後に互いの健闘をたたえ合う」ということですが、実際はゴール後だけのドラマではなくて、たすきを渡した選手が崩れかかる時、仲間が抱き上げて、休憩所まで運んでいる姿は、テレビの

画面でもよく出てくる姿で、ゴール後だけじゃないということについて少し文言を変えられたほうが良いと思います。

○委員 全体として選手と控えの選手という構成にしたというのは、絞られてわかりやすくなってよかったと思います。

私も、「より上位の順位でゴールすることを目標に」というと、すんなり少し入ってこなかったのが、少し手直しされたほうが良いと思いました。

それと、9行目、「控えの選手の思いをしっかりと受け止め」は、これは走る人のことを言っていると思いますけれども、「仲間を信じて力走する」の「仲間」は、一緒に走っている選手を言っていると思います。この仲間は一体誰のことかと思ったのと、次の「力走する」というのが文字で見ると違和感ないですけれども、聞くと「力走」はこの文字が浮かぶかどうか気になります。

それから、13行目、「崩れ落ちる選手を責める気持ちになれない」というのはわかるのですが、祝辞の例として崩れ落ちるとか責めるとか、ネガティブな言葉にも感じるので、祝辞にふさわしいのか、と思います。少しご検討いただければと思います。

○委員 5、6行目の「たすきをかけた最後の選手」この最後の選手というのが、区間の選手を言っているのか、それとも本当に最後の選手を言っているのか、その次に「自分に与えられた区間」だから、この辺のニュアンスが少しどうかなという感じがしました。

それから、もう一つは、8行目の「控えの選手と共に高め合って」この「高め合って」というのと、16行のところの「新たな高みを共に」の「高み」。同じような言葉の言い回しですけれども、意味が違うと思います。

○委員 私は、⑥のところが一番言いたいところだと思います。6段目の「一つの目標に向かって共に働く」ということに少し違和感を覚えました。仲間とともに頑張ることですけれども、何か言い回しがほかにあるのではないかと思います。

あとは、「思うような結果が残せなかった」のところ「そして」が入ったほうが良いと思います。「そして、思うような結果が残せなかった」です。

○教育長 全体的にはかなりよくまとまってきたと思いますけれども、それだけに、細部にわたる技術的な面も含めて、それぞれ思いがありますけれども、6行目の「たすきをかけた最後の選手が、より上位の順位でゴールすることを目標に、自分に与えられた区間を

走り、たすきをつないでいきます」という、この駅伝の説明のくだりですが、中学生ならば知っているところなので、誤解を招くようであれば、思い切って切ってもいいと思いました。

○説明員 目標というところに捉われ過ぎました。駅伝自体の説明も対象が中学生であるということを考えれば、ここまで丁寧に説明しなくてもよかったですと思います。

○教育長 10行目、「ゴール後に互いの健闘をたたえ合う感動的な場面につながります」というところの間に何か挟むなら、具体的に何かイメージするものがありますか。

○委員 駅伝のテレビを見た生徒たちの印象は、つなぐところだと思います。ですから、その場面をもう少しうまく表現できれば。

○教育長 次に、13行目の「崩れ落ちる」というところが、祝辞としていかなものかというところですが、たすきが途切れてしまうこともあります。ですので、「渡せなかったたすきを握りしめる選手」でよろしいですか。

○委員 いいと思います。

○教育長 次に「中学校を卒業する皆さんは、これからは、時には選手の立場に、時には控えとして選手を支える立場になることもあります」と、言い切っていますが、これは駅伝を例にしたわけで、駅伝というスポーツ、それからチームワークという場面ではわかりませんが、多くの中学生が、そういう経験をするかという、実はしないと思います。運動部ではなく文化部もチームワークがありますけれども、これが一般的にこう言っているのか、というのはあると思います。

それから、「一つの目標に向かって共に働くことは」の、働くというのは、少し言葉としてはどうなのかなと思います。それから「その過程で得た力は」というところも重い気がします。

○委員 「共に働く」は中学生には働くという言葉遣いがあるところがあるので、少しその言葉を変えることによって、大分印象は変わるかと思います。

○委員 私は、そのところで「中学校を卒業する皆さんは、これからは、いろいろな場面で時には選手の立場に、時には控えとして選手を支える立場になることもあるでしょう」というように、場面としてあるでしょうと柔らかくすると思います。

○教育長 なるほど、言い切らないということですね。その前まで述べてきたことを引用すると、こういう形になるということですね。わ

かりました。

いろいろ貴重なご意見ありがとうございます。事務局にはもうひと踏ん張りしていただくこととなりますけれども、各委員にはいつごろ修正案を提示できる予定でしょうか。

○説明員 今週中にはお送りしたいと思っております。

○教育長 その他ご質問等ございますか。

特にないようですのでこの報告を受けました。

〔 資料配布
・平成30年度 組織改正(第三次)について 〕

○教育長 以上で本日の定例会を閉会します。

(午前11時7分閉会)